

●本書「はじめに」より

中国の経済学を研究し、大学で「中国経済論」の講義を担当して久しくなる。その間に経過してきた期間でいえば、「文化大革命」直前の時期から、「文化大革命」の期間、そして「改革・開放」の期間となる。これらの期間をつうじていつも提起されていた「時事問題」の理解と解説に翻弄されてきたように感じる。……

初歩的なものにしかすぎないが、このたびようやく中国における社会主義経済理論の「前史」をえがくことになった。しかしこの二〇数年に中国も大きな変化・発展をとげたが、われわれをとり囲む社会もまた大きく変化した。ソ連邦が崩壊してマルクス主義は「檜舞台」から場所を移し、マルクス経済学、社会主義経済理論をめぐる環境も大きくかわった。気がつけば、マルクス経済学を学ぶものは急速に減少し、社会主義も急速に過去のものとなるうとしているかのようである。中国自身でも、資本主義諸国との交流がすすむにつれて対立局面が少なくなるとともに、経済学的环境も大きく変わっている。社会主義の理論、社会主義の政策であるか否かすら大きな問題ではなくなっている。

そのような時期にある現在、マルクス主義経済学、社会主義経済理論が中国へどのように伝播し、それが社会主義建設のなかでどのように展開されていったかを跡づけることに、どのような意義があるのであるか。現在実務的な中国経済の研究は、日本の経済全体、個々の企業活動にとつてますます大きな比重をもつようになり、緊急性もともないながら多くの人たちがすすめている。この時点であえて「時事問題」からはなれて過去の経済理論の動きを概括することには、現在の中国経済を理解し、そして今後につながる大きな方向を把握するうえで欠くべからざるものであると考えることから、この執筆を思い立った。

●関連図書のご案内

折戸洪太 編・訳

## 中国の経済改革と経済理論 増補版

非スターリン化へむかって経済体制改革を模索する中国社会主義の「目標モデル」「全体的構想」等に関する五つの論文を全訳し収録。劉国光の論文を加え増補。

●A5判・並製・240頁・定価 本体2,200円十税 / 89年5月刊 ISBN4-8350-4398-7

折戸洪太 編・訳

## 中国の経済改革理論10年を回顧する

本書は、現代中国における経済改革の理論的指導者・劉国光氏の同名の論文を、原文と翻訳文を一冊にまとめて刊行。特に、開放経済体制下の一〇年間を回顧し、今後の市場経済の展望をさぐる書。

●A5判・並製・63頁・定価 本体1,000円十税 / 93年6月刊 ISBN4-8350-4395-2

●表示価格は、全て税別。

### 不二出版

〒113-0033  
東京都文京区向丘 1-11-2  
TEL 03(3812)4433  
FAX 03(3812)4464  
振替 001601294084

# 中国における社会主義経済理論の展開

本書は、中国への

マルクス主義経済学、社会主義経済理論の

伝播の状況・背景を追求し、

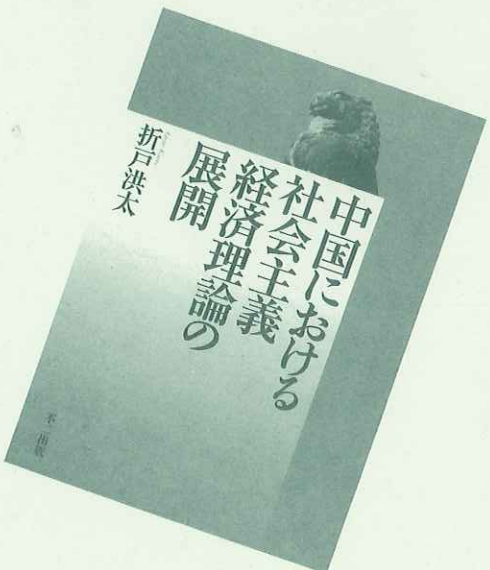
それが社会主義建設のなかで

展開していった過程を跡づける。

現在の中国経済を理解し、

今後の方向を把握するうえで

重要な「前史」である。



折戸洪太 著

A5判・並製・二二二ページ  
定価 本体二,〇〇〇円十税 ●二〇〇五年一月刊行  
不二出版

### 第一章 マルクス主義経済学の中国への伝播

- 第一節 清朝末期から民国初期にかけての外国文化受容状況
- 第二節 古典派経済学の代表としての『国富論』（または『諸国民の富』）の翻訳出版について
- 第三節 マルクス主義文献の翻訳・紹介初期の状況について
  - 一 『共産党宣言』翻訳書出版について
  - 二 『資本論』の翻訳書出版について

### 第四節 マルクス主義文献翻訳の発展

- 一 抗日戦争期マルクス主義文献の翻訳状況について
- 二 抗日戦争期以降、建国初期にいたるまでのマルクス主義文献の翻訳状況について
- 三 中華人民共和国成立後のマルクス主義文献の翻訳出版状況について

## 第二章 マルクス主義経済学用語における中国語と日本語

- 第一節 「似ている」原因について
- 第二節 日本語翻訳語が中国語として定着した点について
- 第三節 日本語と共通な用語をもつて中国語翻訳者の見解

## 第三章 建国以前の社会主義経済理論（一九一九～一九四九年）

- 第一節 陳翰笙の主張を通じてこの時期の経済理論の状況をみる
- 第二節 王学文の主張を通じてみる

## 第四章 計画経済時期の社会主義経済理論（一九四九～一九七八年）

- 第一節 計画経済時期の経済理論を観察する視角
- 第二節 中国における「広義経済学」、「社会主義経済学体系化」について
  - 一 薛暮橋著『中国社会主義経済問題研究』について
  - 二 孫冶方著『社会主義経済論』について
  - 三 于光遠、許滌新の『社会主義経済論』について
- 第三節 中国社会主義経済理論におけるスターリンが提起した問題について
  - 一 スターリン著『ソ連邦における社会主義の経済的諸問題』が提起した問題について
  - 二 中国社会主義経済理論におけるスターリンの位置について
- 第四節 「中国独自の社会主義経済理論の展開」について
  - 一 「農業は国民経済の基礎である」について

### ●著者紹介

#### 折戸洪太（おりとこうた）

一九四二年生まれ  
 一九六七年早稲田大学第一商学部卒業  
 一九七五年早稲田大学大学院商学研究科博士課程修了退学  
 現在 山口県立大学国際文化学部教授  
 専攻 中国経済論  
 著書 『統・目の高さで見た中国』（不二出版）  
 『入門中国経済論』（不二出版）  
 『中国改革・開放の20年と経済理論』（白帝社）他

●弊社は注文制です。お近くの書店へご注文ください

●発行所

# 不二出版

〒113-0023 東京都文京区向丘1-2-12  
 TEL 03-3812-4433  
 FAX 03-3812-4464

注文カード		帖合・貴店名	
冊数	冊	発行所	不二出版
摘要	書名	著者名	折戸洪太
	中国における社会主義経済理論の展開		
ISBN4-8350-4140-2 C3020 ¥2000E		定價＝本体 2,000円＋税	
年	月	日	注文
住所氏名		様	